

【基本目標】上天草市への人の流れをつくる
事業名：遊ぶ×働く×移住する上天草関係人口創出事業
(令和3年度～令和5年度) ※ジップライン事業のみ令和6年度繰越
(令和6年度事業費：89,877千円/44,938千円)

事業の概要

◆本事業は、恵まれた自然環境を最大限に活用した新しいアウトドアアクティビティの開発として、世界的にも人気があるジップラインを整備し、新しい楽しみ方を創出することで、観光客の増加、特に過疎化が著しい姫戸・龍ヶ岳方面への人の流れを創出するもの。更に、「遊び」のジップラインと「働く」のワーケーションを掛け合わせ推進することで、長期滞在がしたくなる地域をつくりだすことにより、企業のサテライトオフィスの設置検討につなげ、「働く場所」として上天草の認知度を向上させ、最終的には「暮らす場所」として移住定住の促進を図る。

<主要事業>

- ①上天草市で「遊ぶ×働く」推進事業（ソフト事業）
- ④上天草市で「遊ぶ×働く」推進事業（ハード事業）

担当課 評価

C

【ソフト事業】ジップラインスタッフ育成のトレーニングを実施、ジップラインプロモーションを実施
【ハード事業】ジップラインその②工事、スタート・ゴールデッキの設置及び架線工事、ジップラインその③工事、駐車場の整備、ジップラインその④工事の実施、ハーネス装着所の整備、誘導看板設置、遊歩道法面保護散布材剤の配布など

改善（令和7年度における取組みなど）

引き続き維持管理に伴う整備を行いつつ、森林公園全体の魅力について情報を発信しながら、さらなる利用者の増加を図る。

また、開業に併せスターリンクによるWi-Fiを整備。今後は利用範囲の拡大を検討し、遊びと働くを掛け合わせたワーケーションを目的とした利用についても拡大検討をしていく。

推進会議 評価

A

K P I の達成度は低いものの、天空ジップライン「白嶽」そのものの稼働率は、本年度のGW以降好調で今後、来場者数が増えることは間違いない。ジップラインだけでなく、姫戸白嶽森林公園やキャンプ場など一体となり、上天草市の姫戸、龍ヶ岳方面への人流を促進する契機となっているので、「A」と評価した。

企画政策部 企画政策課

重要業績評価指標（KPI）

◆ワーケーション利用者数及び白嶽森林公園利用者数
事業開始前 1,637人（ワーケーション0人、白嶽森林公園1,637人）

	R3	R4	R5	R6
目標値 (前年比)	1,812 (+175)	1,997 (+185)	5,277 (+3,280)	13,577 (+8,300)
実績値 (前年比)	2,551 (+914)	2,832 (+281)	6,127 (+3,295)	16,609 (+10,482)
達成状況 (前年比)	○ (○)	○ (○)	○ (○)	○ (○)

令和6年度は
ジップライン
事業のみ

【基本目標】上天草市への人の流れをつくる
事業名：サーキュラーアイランドプロジェクト
(令和5年度～令和7年度)
(令和6年度事業費：7,547千円/3,725千円)

事業の概要

◆本事業は、持続可能なまちの実現を目指し、定住を促進することを目的としてWell-being（満足した生活を送る暮らし）が高まるような取組を行うもの。また、環境、経済、社会の豊かさを充実させWell-beingを高めるため湯島サーキュラーアイランドプロジェクト事業、上天草市ブルーカーボンオフセットに関する情報発信事業、生命の海プロジェクトを実施する。

<主要事業>

- ①湯島サーキュラーアイランドプロジェクト事業
- ②上天草市ブルーカーボンオフセットに関する情報発信事業
- ③生命の海プロジェクト

担当課 評価

C

- ①湯島サーキュラーアイランドプロジェクト事業：SDGsのWS、廃材等を使った取組、情報発信、ブルーカーボンの体験イベントを実施
- ②上天草市ブルーカーボンオフセットに関する情報発信事業：市内でブルーカーボンの創出活動を行う団体に対し、アワードの応募及び情報発信を支援。
- ③生命の海プロジェクト：上天草市内でアマモ場造成活動を行っている団体と連携し、市内の小学生に対し、アマモ場造成の体験授業を行う。

改善（令和7年度における取組みなど）

- ①湯島サーキュラーアイランドプロジェクト事業：小学生を含む島内での影響力のある人たちと活動できたため、今回の取組を継続して普及していく。
- ②上天草市ブルーカーボンオフセットに関する情報発信事業、③生命の海プロジェクト：一般参加者や児童の安全性や満足感の観点から、ポット式及び団子式という方法でアマモ場造成を行っているが、麻袋式など他の方法も検討し、効率的かつ教育上も効果の高いアマモ場造成の方法を検討した上で、引き続き活動継続のための支援（情報発信や補助金交付、ノウハウの提供等）を行っていく。

推進会議 評価

B

上天草市の地方創生を引っ張ってきたと言っても過言ではない湯島を中心に、SDGsを推進する環境、経済、社会の豊かさを実感するプロジェクト。K P Iは、家庭ごみの削減量のみ達成している状態であるが、サステイナアワード2024環境大臣賞を受賞するなど、子ども達の取組みを中心に確かな進展が認められるので、「B」と評価した。

企画政策部 企画政策課

重要業績評価指標（KPI）

◆上天草高校生の就職者のうち地元就職者数

事業開始前 10人

	R5	R6	R7
目標値（前年比）	5（+5）	25（+10）	15（+5）
実績値（前年比）	14（+4）	13（-1）	-
達成状況（前年比）	○（×）	×（×）	-

◆市内で排出される家庭ごみ（可燃ごみ）の一人当たりの削減量 事業開始前 718g

	R5	R6	R7
目標値（前年比）	711.7（+6.30）	708.1（+3.6）	704.5（+3.60）
実績値（前年比）	719（△1）	684（+34）	-
達成状況（前年比）	×（×）	○（○）	-

◆Jブルークレジットへの申請プロジェクトの件数

事業開始前 0件

	R5	R6	R7
目標値（前年比）	1（+1）	3（+2）	3（+1）
実績値（前年比）	0（0）	0（0）	-
達成状況（前年比）	×（×）	×（×）	-



【基本目標】上天草市への人の流れをつくる
事業名：高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト
(令和6年度)
(令和6年度事業費：275千円/124千円)

事業の概要

◆本事業は、市内唯一の高校である上天草高校へ都市部から生徒を募集することを目的として、「地域みらい留学フェス」に参加するもの。

【本事業は全国での広域事業であり、上天草市は負担金のみ拠出】

<主要事業>

大阪府で中学生親子を対象として開催される合同進学説明会「地域みらい留学フェスin大阪」への参加

担当課 評価

B

全国単位での事業のため全体での評価は不明であるが、少なくとも上天草高校へ都市部から1名の入学があったため、効果はあったものとする。

改善（令和7年度における取組みなど）

本事業は令和6年度で終了のため、令和7年度以降は一般財源で実施する。

推進会議 評価

A

本年度初めての取組みであるにも関わらず、市外の都市部より「地域みらい留学フェス」を通じた入学者があったため、確かな実績を認め「A」と評価した。

企画政策部 企画政策課

重要業績評価指標（KPI）

◆「高校を核とした関係人口」の数 事業開始前 0人

	R6
目標値（前年比）	—
実績値（前年比）	9
達成状況（前年比）	—

◆「都市部での地方高校全国説明会」参加者数 事業開始前 0人

	R6
目標値（前年比）	—
実績値（前年比）	85
達成状況（前年比）	—

◆「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト数 事業開始前0団体

	R6
目標値（前年比）	—
実績値（前年比）	0
達成状況（前年比）	—

◆「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数 事業開始前0団体

	R6
目標値（前年比）	—
実績値（前年比）	0
達成状況（前年比）	—